

## 令和4年度岡山県がん対策推進協議会 議事概要

日 時：令和5年3月16日(木) 17:00～18:00

場 所：オンライン (Zoom)

### 【協 議】第3次岡山県がん対策推進計画 進捗状況について

< 発言要旨 >

－医療推進課長挨拶－

- 事務局 資料1～3「第3次岡山県がん対策推進計画 進捗状況」について説明
- 会 長 ただいまの発言についての質問・意見はないか。
- 会 長 岡山県で特に問題のあるがんはあるか。
- 事務局 資料1の4頁目に全国と岡山県のがんの部位別死亡の割合を比較しているグラフがある。男性であれば胃がんの方が大腸がんより高くなっていると、全国と比べて若干順が異なるものもあるが、経年的に見ると頻繁に順番が変わっている。岡山県でこのがんが突出して悪いというのはあまりなく、概ね全国と同じような状況だと考えている。
- 会 長 がん種で考えると、すい臓がんが増えているといった全国的な傾向と同じようになってくるのではないかと思う。岡山県で特に問題になっているところはないということだろうか。
- 委 員 がん検診の受診率について質問したい。資料1の25頁、人間ドックなどの自己負担の検診の受診率について、国民生活基礎調査のデータを出しているが、これは、全例を調査しての数値なのか。それともアンケート形式でのデータなのか。検診受診率を第4期計画でも上げていく必要があると考えるが、このデータの根拠を教えてください。
- 事務局 根拠となる国民生活基礎調査は、3年に1度実施する大規模なアンケート調査で、小規模なものは毎年行っている。県内の全数調査ではなく、年齢や地域である一定数を抽出し、調査をする方法だ。国のがん検診の受診率も、この国民生活基礎調査を基にしている。次期計画策定において、受診率をどのように出すか議論もあったようだが、すぐに全体を把握するシステムがないため、この調査を基にしたデータで受診率を出す

と今のところ聞いている。

○委員 そうすると、各県同じような形で抽出しているということか。

○事務局 そうだ。人口規模等を勘案しながら抽出している。

○委員 全国のデータは、各県のを合計して平均したものということか。

○事務局 そうだ。

○会長 コロナで検診が減ったが、それを補っているのが個別検診という話を聞いており、なかなか数字での評価は難しい。そのような検診で補完して検診受診率を下げないようにしていかなければならないと思う。

肺がんでは、75歳以降の死亡数がかかなりあると思われる。全国統計が75歳なので、仕方がないかと思うが、今後は100歳まで統計をとらなければならぬのではないか。段々とそこを変えていかなければならないように思う。

○事務局 資料4「第4期がん対策推進基本計画（案）の概要」について説明

○会長 これから第4次の計画を立てるということで、少しずつ内容が変わってきているのもわかるが、デジタル化の推進というのはどうなるのか。統計は国立がん研究センターで取っている。がん登録も進んでいるようにも思うが、今後そういうことも検討されるか。

○事務局 国の計画の中から、県の計画に入れるべきものと、県の計画にそぐわないものとあるので、その辺りは精査するということになる。また、目標値についても、各都道府県で使いやすいよう、国が目標値を設定している。その辺りも参考にしながら決めていきたい。

○会長 その他事務局から何かあるか。

○事務局 委員の2年間の任期がこの3月で一旦満了になる。次年度以降の委員については、各団体に推薦依頼等を送る。来年度は計画策定があるので、よろしく願います。

○会長 委員から全体をとおして、質問や意見があるか。

－閉会－